一般社団法人日本アレルギー学会
平成２８年度　事業報告書
（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）

Ⅰ．会員の異動状況

１）正会員

平成28年3月31日現在	１０，９５３名	
平成29年3月31日現在	１１，１６６名	
増減数	２１３名(増)	
内訳　新入会員	５４９名	
除退会員	３２４名	
物故会員	１２名	

役員（理事・監事）、代議員

平成28年3月31日現在	理事２０名	監事３名	代議員３４８名
平成29年3月31日現在	理事２０名	監事３名	代議員３４６名
増減数	０名	０名	２名(減)

２）名誉会員　平成28年3月31日現在　３５名　（内 国際名誉会員 ２名）
平成29年3月31日現在　３８名　（内 国際名誉会員 ２名）
増減数　３名（増）

３）賛助会員　平成28年3月31日現在　３３社
平成29年3月31日現在　３０社
増減数　３社（減）

Ⅱ．事業の状況

１．学術大会、講演会等の開催（定款 第４条 第１号）

1)第65回日本アレルギー学会学術大会
会期：平成28年6月17日（金）、18日（土）、19日（日）
会場：東京国際フォーラム（東京）
参加者数：6,212名
特別演題：　87題（ 会長講演、特別講演3、招請講演11、教育講演17、シンポジウム19、会長企画2、ガイドライン企画、WAO-JSAシンポジウム、メディカルパートナーのためのセミナー、教育セミナー23、イブニングシンポジウム8)
一般演題：573題　（ミニシンポジウム 300題、ポスター　273演題）
English Session　：59題（国内49、海外10）
(Keynote Lecture、Oral 49題、Poster 10題)
（アレルギー65巻4・5号に要旨掲載）

2)第3回総合アレルギー講習会
会期：平成28年12月17日(土)、18日(日)
会場：パシフィコ横浜会議センター（横浜）
参加者数：1,778名（会員1,522名、非会員256名）
講義数：56（会長講演、講義23、教育セミナー12、イブニングシンポジウム5、実習15）

２．学会誌、ガイドライン、その他の刊行物の発行（定款 第４条 第２号）

1)和文誌「アレルギー」 65巻3号～10号(4･5号は合併号)、66巻1～2号　年9回発行

発行日　65巻3～10号（5､7､8､9､11､12月各1日）4･5合併号（5月15日）、
66巻1～2号（2､3月毎月1日）

発行部数　65巻4･5号（合併号）冊子 約12,000部 及びオンラインジャーナル
65巻3号～66巻2号（通常号） 冊子 約10,900部 及び オンラインジャーナル
J-STAGE、メディカルオンラインに掲載

2)英文誌「Allergology International」 第65巻3～66巻2号 年4回発行

発行日　2016年7月､10月、2017年1月､4月
(Supplementはオンラインのみ。通常はオンラインジャーナルと冊子体)

発行部数　冊子体1,500部を発刊、希望者のみに配本している。
エルゼビアのScience Direct及びJ-stageにオンラインジャーナル掲載

３．専門医、指導医、教育研修施設等の認定（定款 第４条 第３号）

1)専門医の認定

今年度専門医申請者　222名
平成28年12月14日　資格審査委員会にて書類審査　受験有資格と判定 222名
平成29年 1月29日　資格認定試験　受験者 222名　欠席0名
平成29年 2月25日　資格判定会議　（専門医制度合同委員会）
試験合格者 202名を専門医に認定（合格率 90.09％　平均 77.90点）

2)指導医の認定

今年度指導医申請者43名について、資格審査委員会にて随時審査。
平成28年度指導医35名、平成29年度指導医 8名を認定。

3)教育研修施設の認定

今年度申請施設 103施設について、資格審査委員会にて随時審査。
平成28年度認定　教育研修施設 53科、準教育研修施設 25科を認定。
平成29年度認定　教育研修施設 17施設(科)、準教育研修施設　8施設(科)を認定。

4)専門医の更新認定

今年度専門医更新対象者 605名、申請者 511名。指導医からの更新11名
平成29年2月25日 資格判定会議(専門医制度合同委員会) 合格者 511名を認定。
該当者9名が指導医に申請して認定された。

5)指導医の更新認定

今年度指導医更新対象者 92名、申請者 73名。
平成29年2月25日 資格判定会議(専門医制度合同委員会) 合格者 73名を認定。

6)教育研修施設の更新認定

今年度教育研修施設更新対象 101科、申請 88科。
平成29年2月25日 資格判定会議(専門医制度合同委員会) 合格 88科を認定。
今年度準教育研修施設更新対象 5科、申請3科。
平成29年2月25日 資格判定会議(専門医制度合同委員会) 合格 3科を認定。

４．研修及び教育の実施（定款 第４条 第４号）

(1) 専門医教育セミナー

1) 第49回 平成28年6月19日　会場　東京国際フォーラム（東京） 参加者331名
2) 第50回 平成28年8月30日　会場　ＪＰタワー（東京）　参加者452名

(2) 専門医制度集中研修（第10回相模原臨床アレルギーセミナー：共催）
平成28年8月5日～7日　会場 パシフィコ横浜アネックスホール　参加者264名

５．研究の奨励及び研究業績の表彰（定款 第４条 第５号）

1) 2016年度海外研究留学助成金

学会誌および学会ホームページにて公募、応募者4名について選考、下記4名に決定した。

〔受賞者〕（五十音順、所属は応募受付時）
稲毛英介（順天堂大学医学部小児科学教室／東京都保健医療公社東部地域病院小児科）
正田哲雄（国立成育医療研究センター生体防御系内科部アレルギー科）
野村孝泰（名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学）
端本宇志（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科皮膚科学分野）

2）2016年度（第13回）日本アレルギー学会学術大会賞
平成28年度本学会学術大会(第65回学術大会)で発表された研究業績を対象として学会誌および学会ホームページにて公募、応募者18名について選考、下記5名に決定した。
〔受賞者〕（五十音順）
岩﨑成仁（大阪市立大学医学部付属病院耳鼻咽喉科）
「エンドトキシンを引き金としたIgE非依存性鼻炎症状の誘導」
亀倉隆太（札幌医科大学医学部附属フロンティア医学研究所免疫制御医学部門）
「アレルギー性鼻炎の新たな治療標的としての“エピイムノーム”の重要性」
鈴木勇三（浜松医科大学第二内科）
「慢性好酸球性肺炎の長期予後の検討（多施設共同研究）」
中村達朗（東京大学大学院農学生命科学研究科放射線動物科学研究室）
「Mast cell-derived PGD2 attenuates anaphylaxis」
夏目　統（浜松医科大学医学部付属病院小児科）
「アトピー性皮膚炎乳児の鶏卵早期摂取による卵アレルギー発症予防についての無作為化二重盲検比較試験」

3)2016年度臨床研究支援プログラム
2016年度より学会員が行う臨床研究の推進や将来の研究のスタートアッププログラムとしての支援のために設置された。学会誌および学会ホームページにて公募、応募14件について選考、下記3件に決定した。
「成人喘息における増悪関連フェノタイプの検討-多施設共同による観察研究－」
代表研究者：檜澤伸之（筑波大学医学医療系呼吸器内科）
「アレルギー性鼻炎の疫学調査（PFAS遺伝子解析・細菌叢解析）」
代表研究者：藤枝重治（福井大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科学）
「アナフィラキシーガイドラインの重症度評価を用いた食物アレルギーの誘発症状の標準的な評価方法の確立」
代表研究者：柳田紀之（国立病院機構相模原病院小児科）

６．関連学術団体との連絡及び協力（定款 第４条 第６号）
1)内科系13学会協議会関連：新・内科専門医制度移行に伴う内科系関連13学会協議会（第11～14回）に参加。
2)内科系関連13学会プログラム作成者実務者会議（第1～3回）に参加。
3)公益財団法人日本アレルギー協会との連携協力：第65回学術大会共催。同協会主催「アレルギー週間」(平成29年2月17日～23日）を後援。
4)内科系学会社会保険連合：アレルギー関連委員会(2016年6月)が新設され運営団体として社員総会・運営委員会に参加。内保連例会及び呼吸器関連委員会に委員参加。平成30年度診療報酬改定に向けての医療技術評価や再評価の提案を関係学会とも共同で実施。
5)日本医学会：評議員会、臨床部会、医学用語委員会等に委員派遣、分科会としての活動に参加。
6)アナフィラキシー啓発担当医育成プラン活動を継続し、他学会の学術集会等にアナフィラキシー対策特別委員会より専門医師を派遣した。2016年8会場で実施、2017年2会場を予定。
7)日本医師会：女性医師支援事業に継続して参加。第3回総合アレルギー講習会においてキャリア・アップ講座「Great careerを掴むための考え方」と題する講演会を医師会と共催。また、託児利用者を対象としたキッズツアーを開催。
8)日本医療安全調査機構：診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業の協力関係学会とし

て、全国７ブロックの責任者・評価委員を推薦、協力体制をとっている。事業の全国展開により、本学会も一般社団法人日本医療安全調査機構の社員に加入、負担金を拠出。

9)災害時の対応、支援活動に関するワーキンググループが中心となり、日本アレルギー協会と連携し、日本小児アレルギー学会の協力を得て、災害派遣医療スタッフ向けアレルギー疾患対応マニュアル(暫定版)を再編集し、発刊。

７．国際的な研究協力と交流の推進（定款 第４条 第７号）

1) English Session 2016

第65回日本アレルギー学会学術大会(2016年6月17-19日）における English Session のプログラムを学術大会委員会とともに企画し、開催した。講演者総数：60名

＊ 海外の演者は韓国６名、台湾２名、香港２名を招聘した。

2) World Allergy Organization(WAO)との活動

・WAO House of Delegates (2015-17)

日本アレルギー学会から3名の代表を登録（国際交流委員長、副委員長、担当理事）。

・WAO Board of Directors, 各種Committee Council

本学会会員が参加し、世界のアレルギー研究者の活動に積極的に参加。

・World Allergy Week 2016

2016年4月4-10日は世界アレルギー週間で、2016年のテーマはPollen Allergies - Adapting to a Changing Climate : climate change worsens allergies globallyであった。メール配信とHPにて会員あて案内。

3) EAACI International Society Council への JSA の加入

JSA(Japanese Society of Allergology)は EAACI (European Academy of Allergy and Clinical Immunology) の International Society Council へ加入することになった（2016年10月5日）。

4) Joint Congress of APAAACI and APAPARI 2016

本学会が加盟する APAAACI は、2016年10月17-20日にクアラルンプール（マレーシア）で開催され、当学会から講演者13名が派遣。

5)Kenji Mano Travel Grant

眞野健次名誉会員からの寄付金を基に Kenji Mano Travel Grant を創設した。若手の日本の研究者が国際会議に参加する場合の渡航経費にあてる。2016年度受給者は次のとおり。

＊ APAAACI and APAPARI 2016 Congress,17-20 October 2016,Kuala Lumpur, Malaysia
広田朝光（1名）

＊ AAAAI Annual Meeting 2017,3-6 March 2017, Atlanta, GA, USA
内田義孝、亀倉隆太、中込一之、中村達朗、山本幹太（5名）

８．普及啓発活動（定款 第４条 第８号）

1)市民公開講座開催

日　時：平成28年6月19日（日）14:30～16:00　(Ustreamライブ配信)

会　場：東京国際フォーラム　ホールD7(7階 第6会場)

テーマ：今からできる、食物アレルギー入学準備とスキンケア　　参加者：169名

2)学会Webサイトの一般向けコンテンツ

・アレルギーに関する用語やアレルギーの解説、病気についての解説・Q&A等の掲載。

・本学会専門医の検索サイト掲載（都道府県、専門、氏名、病院名で検索）。

・関連機関からの一般市民向けの公開講座、患者会からの情報等掲載。

９．その他目的を達成するために必要な事業（定款 第４条 第９号）

・アレルゲン免疫療法の推進

アレルゲンの標準化整備事業を推進。公募にて決定した協力企業と連携で、診断と治療のための抗原の開発、免疫療法の啓発・普及に取り組んでいる。

Ⅲ．会議等

理事会・社員総会

１．第26回常務理事会（第32期　第4回）

日時：2016年6月16日（木）15:00～16:00

場所：パレスホテル東京　4階　撫子B

出席：理事長、常務理事3名

議事　1. 公益目的支出計画1年延長認可の件(報告)

2. 名誉会員からの追加寄付について（報告）

3. 2016年度海外研究留学助成金授賞候補者の件(了承)

4. 第4回総合アレルギー講習会実行委員長推薦の件（了承）

5. 理事会・総会の事前打合せ

6. 日本アレルギー学会 事務局長選任の件(承認)

7. 日本神経学会からの要望書について(了承)

２．第20回理事会（第32期　第5回）

日時：2016年6月16日（木）16:30～18:30

場所：パレスホテル東京　４階　桔梗

出席：理事長、理事18名、監事2名、陪席1名

議事　1.平成27年度（2015/4/1～2016/3/31）事業報告に関する件（可決）

2.平成27年度（2015/4/1～2016/3/31）会計報告に関する件（可決）

3.平成27年度（2015/4/1～2016/3/31）公益目的支出計画実施報告書に関する件（可決）

4.名誉会員からの追加寄付について(報告)

5.第10回内科系13学会協議会報告について(報告)

5.2016年度名誉会員の推薦について(承認)

6.2016年度功労会員の推薦について(承認)

7.2016年度海外研究留学助成金授賞候補者承認の件(承認)

8.利益相反自己申告書改定の件(承認)

9.研究推進委員会「日本アレルギー学会臨床研究支援プログラム」(案)の件(承認)

10.第4回総合アレルギー講習会実行委員長選任の件(承認)

11.診療報酬検討専門部会員再任の件(承認)

12.会員の動態、委員会活動報告（報告）

13.日本アレルギー学会事務局長選任の件(承認)

14.日本神経学会からの要望書の件(了承)

３．第７回社員総会

日時：平成28年6月17日（金）　18:45～20:45

場所：東京国際フォーラム　ホールB7(１)

出席：社員300名（委任状出席120名含）、監事3名、陪席42名

議事　1.平成27年度（2015/4/1～2016/3/31）事業報告に関する件（承認・可決）

2.平成27年度（2015/4/1～2016/3/31）会計報告に関する件（承認・可決）

3.平成27年度（2015/4/1～2016/3/31）公益目的支出計画実施報告書（承認・可決）

4.平成28年度（2016/4/1～2017/3/31）事業計画（報告）

5.平成28年度（2016/4/1～2017/3/31）予算（報告）

6.第68回学術大会会長選挙に関する件（承認）

7.2020(平成32)年開催の学術大会・社員総会に関する件(承認)

8.名誉会員の推薦に関する件 3名（承認）

9.功労会員の推薦に関する件27名（承認）

10.規程の改正について承認を求める件(承認)

11.2016年度代議員および役員選挙　選挙管理委員会委員について承認を求める件(承認)

12.会員の動態、理事会及び各委員会活動報告(報告)

４．第27回常務理事会（第32期　第5回）
日時：2016年9月30日（金）16:00～17:30
場所：日本アレルギー学会会議室
出席：理事長、常務理事4名、陪席1名
議事　1. 「蜂毒アレルゲンエキス」申請延期、「スギ花粉症におけるアレルゲン免疫療法の手引き」改訂の件(報告)
2. 2020年開催　国際学会について（了承）
3. EAACIへのJSAの加入について（了承）
4. 専門医制度委員会:整備基準（素案）について（了承）
5. 2017 GA²LEN Allergy School on Urticaria in Japan_後援の件(承認)

５．第21回理事会（第32期　第6回）
日時：2016年9月30日（金）18:00～20:00
場所：日本アレルギー学会会議室
出席：理事18名、監事3名、陪席1名
議事　1. アレルギー編集委員会：和文誌「アレルギー」オンライン投稿査読システム導入について（報告）
2. 日本呼吸器学会から依頼の「喘息・COPDオーバーラップ症候群（ACOS）の診断と治療の手引き」作成・参画の件（報告）
3. 「蜂毒アレルゲンエキス」申請延期、「スギ花粉症におけるアレルゲン免疫療法の手引き」改訂の件(報告)
4. 2017 GA²LEN Allergy School on Urticaria in Japan_後援の件(報告)
5. アレルギー疾患対策の推進に関する基本的指針（学会最終案）の審議(承認)
6. 学術賞選考委員会新委員長選出について(承認)
7. 第4回総合アレルギー講習会委員選出の件(承認)
8. 2020年開催　国際学会について(承認)
9. EAACI への JSA の加入について(承認)
10. 専門医制度委員会:整備基準（素案）について(了承)
11. 「即時型食物アレルギーによる健康被害に関する全国実態調査」実施協力の件(承認)
12. 選挙管理委員会からの報告と提言（了承）

６．第28回常務理事会（第32期　第6回）
日時：2016年11月18日（金）17:00～19:00
場所：日本アレルギー学会会議室
出席：理事長、常務理事4名
議事　1. 2020年開催　JSA/WAC/APAAACI合同開催について（報告･了承）
2. 2020年第69回学術大会会長選出について（了承）
3. 2020 年開催　総合アレルギー講習会開催時期について（報告）
4. 1)第５回総合アレルギー講習会実行委員会委員長選出について（了承）
2)総合アレルギー講習会に関する規程改正の件（了承）

７．第29回常務理事会（第32期　第7回）
日時：2016年12月16日（金）15:00～16:00
場所：パシフィコ横浜会議センター3階312
出席：理事長、常務理事5名
議事　1. 2020年JSA/WAO/APAAACI合同開催について(報告)
2. アレルギー専門医カリキュラム(改定案)の日本内科学会提出について(報告)
3. 第５回総合アレルギー講習会実行委員会委員長選出について(了承)
4. 学術大会運営細則制定について(了承)
5. 2017年度研究推進委員会予算　増額の要望について(継続審議)

6. 2017年度委員会改編について(了承)
7. 日本医学会COI管理ガイドライン(改定案)、診療ガイドライン策定参加資格基準ガイダンス案について(了承)
8. 厚生労働省からの「疾病、障害及び死因分類専門委員会」専門委員推薦について(了承)
9. 日本学術会議会員・連携会員の候補者に関する情報提供について(了承)

８.第22回理事会（第32期　第7回）
日時：2016年12月16日（金）16:30～18:30
場所：パシフィコ横浜会議センター3階313+314
出席：理事長、理事19名、監事2名、陪席1名
議事
1.「アレルギー疾患対策の推進に関する基本的な指針」に関する報告(報告)
2. 2020年 JSA/WAC/APAAACI　合同開催について（報告）
3. EAACIとの交流活動について（報告・承認）
4. 総合アレルギー講習会に関する報告(報告)
5. アレルギー専門医カリキュラム（改定案）の日本内科学会提出について（報告）
6. 日本呼吸器学会より「難治性喘息の診療の手引き」作成について（報告）
7. 2020年第69回学術大会会長選出について(承認)
8. 第５回総合アレルギー講習会実行委員会委員長選出について(承認)
9. 2020年 第7回総合アレルギー講習会　開催地・時期について(承認)
10. 総合アレルギー講習会実行委員長選任細則の改正について(承認)
11. 学術大会運営細則制定について(承認)
12. 第5期アレルギー疾患ガイドライン委員会新メンバーの承認について(承認)
13. Anaphylaxis対策特別委員会 任期再延長について(承認)
14. 第13回学術大会賞の受賞候補者選出について(承認)
15. 2016年度臨床研究支援プログラム受賞候補者選出について(継続審議)
16. 2016年度男女共同参画奨励賞受賞候補者選出について(承認)
17. 日本補体学会より「乾燥濃縮人C1-インアクチベーター製剤」に関する要望書提出について(承認)
18. 学術大会開催についての報告（第66回、第67回、第68回）(承認)
19. 一般社団法人免疫療法臨床研究会からの事業計画案について(了承)

９.第30回常務理事会（第32期　第8回）
日時：2017年3月17日（金）16:00～17:30
場所：日本アレルギー学会会議室
出席：理事長、常務理事4名
議事
1. 第68回学術大会の運営会社について(報告)
2. 第4回、第5回総合アレルギー講習会の運営会社について(報告)
3. 厚労省　アレルギー相談センター事業　公募について(了承)
4. アレルギー専門医カリキュラム改定案(了承)
5. 研究推進委員会から「臨床研究支援プログラム」募集要項改正について(了承)
6. 平成29年度(2017/4/1～2018/3/31)事業計画素案について(了承)
7. 平成29年度(2017/4/1～2018/3/31)予算素案について(了承)
8. 第８回社員総会開催について(了承)
9. 第69回学術大会会長選挙について(了承)
10. 第66回学術大会中の①日本アレルギー協会の50周年事業について ②免疫療法講習会について(了承)
11. 基礎研究推進特別委員会設置について(了承)
12. 広報委員会よりWEBサイトリニューアルについて(了承)
13. アレルギー編集委員会から代議員に対する専門研究分野特定協力について(了承)

10.第23回理事会（第32期　第8回）

日時：2017年3月17日（金）18:00～20:00

場所：日本アレルギー学会会議室

出席：理事長、理事16名、監事3名、陪席1名

議事　1. 第68回学術大会の運営会社について（報告）

2. 第3回総合アレルギー講習会についての報告、第4回・第5回総合アレルギー講習会の運営会社について、第4回総合アレルギー講習会についての報告（報告）
3. 第4期(33期)役員選挙・理事長選挙までの流れと委員会改選について（報告）
4. 「災害派遣医療スタッフ向けアレルギー疾患対応マニュアル」発行について（報告）
5. アレルギー編集委員会から代議員に対する専門研究分野特定協力のお願いについて（報告）
6. EAACIとの講演者相互派遣交流についてのご報告（報告）
7. 韓国アレルギー学会春季大会 若手研究者派遣（報告）
8. 診療報酬検討専門部会からの報告(報告)
9. アレルギー疾患対策基本法　進捗状況についての報告と厚労省アレルギー相談センター事業公募について（報告・承認）
10. アレルギー専門医カリキュラム改定案　（承認）
11. 総合アレルギー講習会実行委員会より規程改正の件
会員規程一部改正の件（承認）
12. 第69回学術大会会長選挙について（承認）
13. 平成29年度(2017/4/1～2018/3/31)事業計画案について（承認）
14. 平成29年度(2017/4/1～2018/3/31)予算案について（承認）
15. 第８回社員総会開催について（承認）
16. 第 66 回学術大会中の　①日本アレルギー協会の 50 周年事業について ②免疫療法講習会について（承認）
17. 第65回学術大会の報告について（承認）
18. 研究推進委員会から「臨床研究支援プログラム」募集要項改正について（承認）
19. Anaphylaxis対策特別委員会より活動期間延長と今後の活動内容について（承認）
20. 基礎研究推進特別委員会設置について（承認）
21. AI査読者への表彰について(承認)
22. 新専門医制度について(了承)

<u>各種委員会</u>

〇和文誌「アレルギー」編集委員会（平成28年6月18日、11月11日）

学術情報誌として内容の充実を図り、読者を意識した誌面作りを目指している。（学術大会特別演題演者からの「綜説」、「専門医のためのアレルギー学講座」は総合アレルギー講習会のテーマを基本に2号ずつシリーズを構成、「ガイドラインのワンポイント解説」は常に新しいガイドライン情報を提供する（年８編）、「アレルギー用語解説シリーズ」（専門医を目指す会員が知っておくべきレベルの用語解説を基本とし毎号３編）掲載、「私のアレルギー史」は名誉会員に寄稿を依頼（年１編程度））。

学会 Web サイトでは印刷誌発刊と同時に J-STAGE を利用したオンラインジャーナルを発行し、電子書籍 KaLib にも掲載。メディカルオンラインにて順次全文収載。

2016 年 10 月よりオンライン電子投稿査読システム（ScholarOne）運用を開始。

アレルギー編集事務局会議を平成 28 年 9 月 2 日、平成 29 年 3 月 3 日に開催した。

〇英文誌「Allergology International」編集委員会（平成28年6月18日、12月4日）

日本アレルギー学会英文誌 Allergology International は、出原賢治編集委員長の下、順調に刊行されている。オンラインジャーナルはエルゼビアのScience　Directより発行。冊子は、希望する会員のみに配布(発行1500部）している。2015年インパクト・ファクター(IF)は2.355であった。2016年の投稿総数は2014年の約2倍に急増した。

○出版物刊行委員会
日本医学会用語委員会に出席し、医学会との連携について検討した。
平成28年度日本医学会分科会用語委員会(平成28年12月1日)に出席。
○長期計画委員会（平成28年6月18日）
長期展望に立った学会の在り方について、理事長諮問事項について検討を行っている。
学術大会事務局の学会本部移行・学会主体の運営体制、専門医制度の検討、アレルギー疾患対策基本法の活用策、学会員の増加策について等の検討。
○広報委員会（平成28年6月17日）：Web編集専門部会 6月17日）
一般向けサイトに関する報告 、AI 編集委員会からのオンラインジャーナルサイト広告について、当会 WEB サイトへのダイレクトリンク許諾について等を検討した。
○総務委員会（平成28年4月、平成29年3月）
平成28年度事業報告書案、平成29年度事業計画書案の検討。
○財務委員会（平成28年4月、平成29年3月）
平成28年度決算書作成、平成29年度予算案の検討。
○定款・細則検討委員会（メール審議：平成28年8月、平成29年3月）
学術大会運営細則・内規の新設、会員規程・総合アレルギー講習会規程・総合アレルギー講習会実行委員長選任細則の改正の検討
○推薦委員会（メール審議：平成29年3月）
平成29年度名誉会員、功労会員の推薦について検討、名誉会員候補者1名、功労会員候補者27名を理事会に推薦した。
研究助成、外部賞の公募情報について、学会Webサイト、学会誌で会員に告知した。
○倫理委員会（平成28年6月18日、日本医学会関連：平成28年5月16日、メール審議）
内科系14学会COI共通指針改訂内容、日本アレルギー学会「医学研究の利益相反(COI)に関する共通指針細則」の改正について検討。
日本医学会主催の日本医学会分科会利益相反会議、研究倫理教育研修会へ参加。内科系14学会COI共通指針の改定についての検討。
○専門医制度関係
＊資格審査委員会（平成28年12月14日）
平成29年度認定専門医申請者の書類選考を行い、申請者222名全員の受験資格を認めた。
＊試験問題作成委員会（平成28年6月25日､10月30日）
平成28年度試験問題の作成、試験当日の時間配分、試験監督の選出等について検討した。
＊教育研修委員会（平成28年11月19日）
第51回専門医認定教育セミナープログラム、講師を決定した。また司会は、堀口高彦教育研修委員、後藤穣同副委員長に決定した。
第52回専門医認定教育セミナープログラム及び講師を決定した。
＊総合アレルギー専門医研修プログラム検討委員会（平成28年8月29日）
内科系13学会協議会等の報告。アレルギー学会としての方針、第4回総合アレルギー講習会について検討した。
＊専門医制度・資格審査・試験問題作成・教育研修　合同委員会（平成29年2月25日）
平成29年度専門医・指導医・教育研修施設・認定医の更新等について検討し、決定した。
平成29年度試験問題について検討した。
＊平成29年度専門医試験(平成29年1月29日)を実施。
＊内科系13学会協議会関連
新・専門医制度移行に伴う内科系関連13学会協議会(平成28年6月30日､8月9日､12月22日、平成29年4月15日)に参加
内科系関連13学会プログラム作成者実務者会議(平成28年8月26日､9月29日､11月1日)に参加
○国際交流委員会（平成28年6月17日、平成29年1月14日）
＊English Session2016（第65回日本アレルギー学会学術大会(2016年6月17-19日）における English Session のプログラムを学術大会委員会と共に企画
＊World Allergy Organization(WAO)活動への参加
＊EAACI International Society Council への JSA の加入についての検討

＊Joint Congress of APAAACI and APAPARI (20162016年10月17-20日 クアラルンプール(マレーシア))への会員派遣の検討

＊Kenji Mano Travel Grant 授賞者の検討

○研究推進委員会（平成28年6月18日、平成29年2月22日）

会員を対象とする「日本アレルギー学会研究支援プログラム」の設置、受賞者3名を選考した。

○アレルゲン・免疫療法委員会(平成28年6月19日)

アレルゲン免疫療法についての課題やSCIT/SLIT実施医師の学術環境整備を目的とした講習会やシンポジウムの開催を検討

○学術大会委員会（平成28年6月19日、8月4日、10月3日、平成29年2月3日）

学術大会プログラム編成等について会長に提言、不採択演題の最終判定、発表演題の各種問題検討、会長と共に学術大会を総括的に推進。学会主導(学術大会委員会、学会事務局)の学術大会運営に関与する。

○総合アレルギー講習会実行委員会

＊第3回総合アレルギー講習会実行委員会（平成28年6月18日、9月13日、10月24日、12月2日）

第3回講習会について開催概要、講義・実習プログラムのテーマ、座長、講師の選定、内容の検討、作成、当日の運営確認、総合アレルギー講習会規程、委員長選任細則の一部改正を検討した。

＊第4回総合アレルギー講習会実行委員会(平成28年11月21日、平成29年1月30日、2月28日、3月22日)第4回講習会の運営会社選定、開催概要、プログラム内容、座長・講師等を検討した。

○学術賞選考委員会（平成28年11月22日）

2016年度海外研究留学助成金応募者の募集、選考を行い、受賞候補者4名を選出。

第13回学術大会賞応募者の募集、選考を行い、受賞候補者5名を選出。

○アレルギー疾患ガイドライン委員会（平成28年6月16日、12月16日）

「アレルギー総合ガイドライン2016」の要約版を英語論文にし、Allergology International Vol.66 No.2にて発行、「喘息予防・管理ガイドライン2018」および「アトピー性皮膚炎診療ガイドライン2018」（日本皮膚科学会との共同出版）の発行に向けて執筆・編集作業を進めている。

○医療問題検討委員会

＊診療報酬検討専門部会（平成28年6月17日、メール審議）

平成30年度診療報酬改定提案書に関して社員から意見集約し、内保連へ提出した。

内科系学会社会保険連合会（内保連）の活動：6月19日第1回アレルギー関連委員会を開催

○男女共同参画委員会（平成28年6月18日、12月18日）

第65回学術大会においてメンター＆メンティ相談会と医師支援セミナー、第3回総合アレルギー講習会では日本医師会支援によるランチセミナーを開催した。

第1回男女共同参画奨励賞を設置し、受賞者2名を選考した。

[特別委員会]

○Anaphylaxis 対策特別委員会（平成29年2月1日）

ファイザー社から教育助成プログラムの援助を受け以下の2つのプログラムを継続している。

1) 日本アレルギー学会教育研修施設におけるアナフィラキシー治療症例の多施設集積研究では、2017年3月までに88施設（小児科：63施設、その他：25施設）から768例を集積した。

2) アナフィラキシー啓発活動では、ガイドラインを基にした医師向けのアナフィラキシーに関する講義資料を作成した。2017年3月までに1332名（有効回答：1282名）のアンケートを回収した。アナフィラキシー啓発担当医育成プランの啓発講演会を平成28年度には8学会で実施、平成29年度は2学会を予定している。

○災害時の対応、支援活動に関するワーキンググループ（メール審議）

日本アレルギー学会と日本アレルギー協会が連携し、専門医以外でも災害地域の医療スタッフが活用できる「災害派遣医療スタッフ向けアレルギー疾患対応マニュアル」を発刊。

○選挙管理委員会(平成28年8月10日、平成29年1月16日、3月24日)

平成28年6月17日の第7回社員総会で設置の承認。9月1日平成2016年度代議員・役員選挙公示、平成29年1月16日代議員選挙開票、3月24日役員選挙開票。